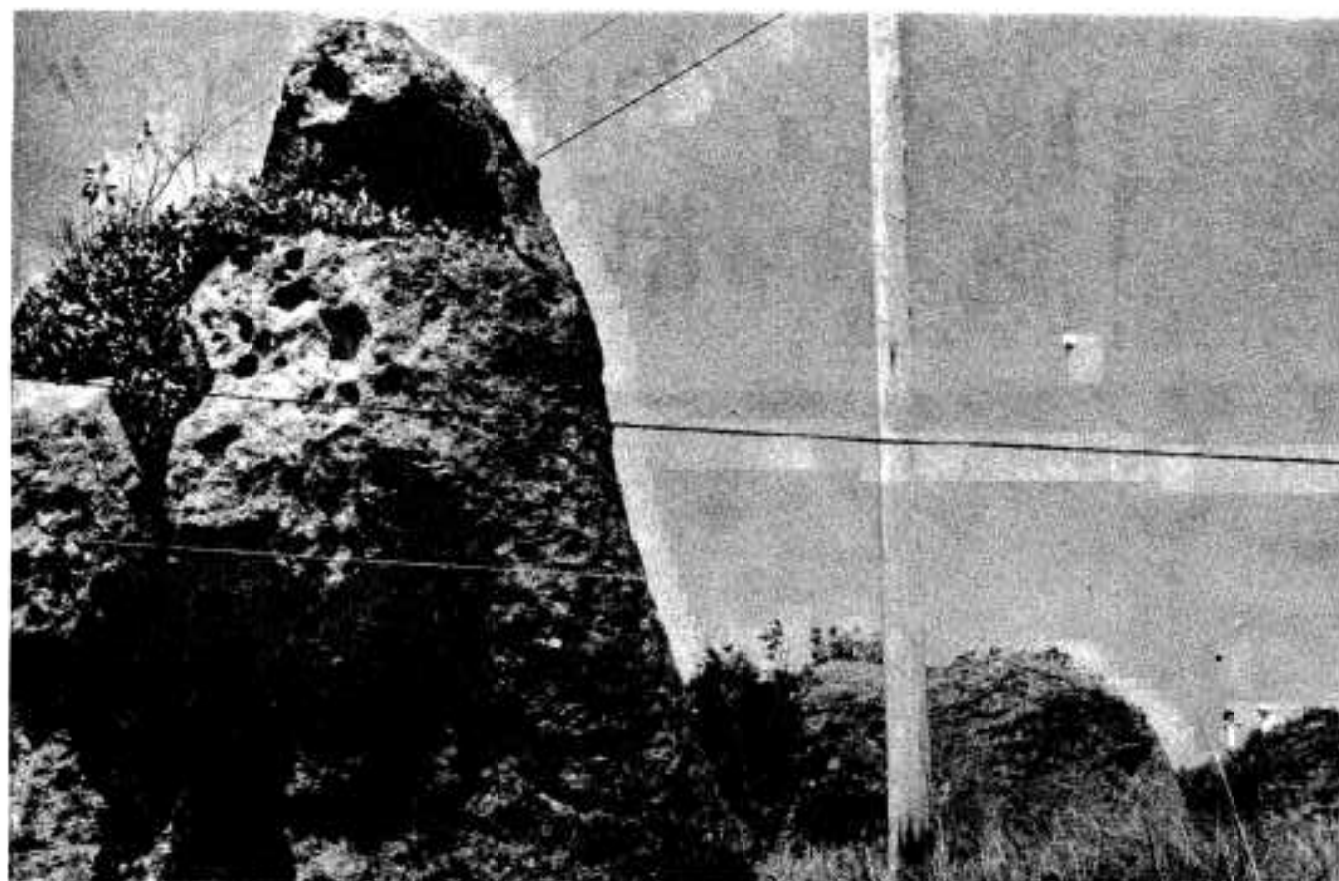




阿久根市の人口	
住民基本台帳人口と世帯数 (9月1日現在)	
人口	29,676 (+56)
男	13,853 (+26)
女	15,823 (+30)
世帯数	9,808 (+10)



見直そうふるさと
あきくね

奇岩「龍の化石」

大川鈴木段

青々とした東シナ海を眼下に見おろす、ここは市内大川の鈴木段。段々畑の中に大小の石群が点在する、その一つ(写真)が「龍の化石」。土地の人は「鳥取って食つとが、龍鳥食つ」と言っている。

よく見れば龍が首を持ち上げ、龍鼻や近くの鼻々をわらっているように見える。後ろにある大小の石も龍の胸やしっぽの一部に見えるから不思議だ。

首に当たる石は高さ約八尺、回り約二十尺はある。しっぽまで入れたとしたら四十尺はゆうにある。

龍の化石にまつわる伝説はないが、昔栗原山にいた龍が山を出てこゝまで来て龍鼻をにらんで座っていたのが化石になった……と言い伝えられている。

また、出水風土記の中には、阿久根の七不思議として、現在知られている七つのほかに「この龍の化石も入っている。」

59年

9月号



“知恵と経験” 若い世代に伝えて



ゲートボールの合い間、世間話に楽しむお年寄りたち

お年寄りに、今、最も人気のあるスポーツといえばゲートボールじゃないでしょうか。体力づくり、仲間づくりにと、市内各区の広場では炎天下にもめげずお年寄りたちが元気に玉を打つ姿が見られます。

ある広場で休憩をとっていたお

年寄りのグループの中に入り、一言話しかけてみました。
「みんな、今、幸せですか」
真黒に日焼けしたお年寄りたちは、顔のシワを寄せて「もちろん、今ん世ん中よかなあ」と笑って答えてくれた。

お年寄りが元気で幸せに暮らせる

る世の中、これが私たちの願いなのです。趣味やボランティア活動に参加されるお年寄りの姿を見てると心強く、ハリが感じられるのもしく見えました。

さて、九月十五日は「敬老の日」、市内のお年寄りの皆さん長寿おめでとごさいます。各区では感謝をこめた敬老行事が催され、歌や踊り、またスポーツに楽しむお年寄りの姿でにぎわっていました。

市でも、市内の八十歳以上のお年寄りの方々に敬老年金や記念品などを贈り、長寿を祝福しました。

今、市内で六十五歳以上のお年寄りは約五千人程います。市人口の約十六%がお年寄りで、高齢化社会がじわじわ進んでいます。また、日本の平均寿命も男子七四・二歳、女子七九・七八歳でアイスクランドを抜いて世界一となりました。人生八十年もすぐです。

市内には県下で一番目の高齢者、百七歳の早水ツルさんも健在です。

お年寄りの皆さん、皆さんには長年の人生で培ちかかれた知恵と経験があります。こうしたお年寄りならではの持ち味や特徴を家庭や地域社会でもっと役立たせてほしいものです。若い世代に伝えてもらいたいものです。

これからもまだまだ元気で楽しく長生きしてください。



じいちゃんばあちゃん
百まで生きてね

おばあちゃん おじいちゃん
若松モヨノさん 若松 弘さん
(71) (76)

市内大川表川内

いつまでも元気だね

市内山下遠矢

宇治野智子

(11)

わたしのおじいちゃん、七

十六歳。四月までは、会社の社長でしたが、今は、七十一歳のおばあちゃんと、いっしょに農業をして楽しくくらしています。この夏は、大きなスイカを、たくさん作って、食べさせてくれました。

おじいちゃんは、今まで、会社の仕事ばかりで、農業は、おばあちゃんの仕事でしたので、おばあちゃんと、けんかをしながら働いています。

でも、作ったものを、まごたち、食べさせるのが、楽しみです。おばあちゃんの家に行くと、作ったものを、「もって行けもって行け」と言ってくれます。

とても、うれしいです。こんなおじいちゃん、おばあちゃんですが、わたしは、いつまでも、いつまでも、元気で、長生きしてほしいと思っています。

- (敬称略、九月一日現在)
- 百七歳 早水ツル(桜ヶ丘荘)
 - 百一歳 吉富モト(吉里)
 - 九十九歳 湯田シズ(尻無上)
 - 九十七歳 奥平キサ(中座敷)
 - 九十六歳 末吉善蔵(遠矢) 松水
 - 八平衛(飛松) 花田イソ(仲仁田)
 - 橋之浦キク(桜ヶ丘荘) 山元チヨ
 - (聖園)
 - 九十五歳 中野長次郎(仲仁田) 新町ハルギク(桜ヶ丘荘) 村上表吉(松ヶ根) 古川チル(蓮の実園)
 - 九十四歳 猿楽ワイ(浜) 馬見新ヨ子(飛松) 中湯平ワカ(蓮の実園)
 - 濱之上ワイ(大谷)
 - 九十三歳 出口傳吉(中村) 餅越セシ(弓木野) 田原スソノ(米次) 俣屋イロ(聖園) 浦嶋森蔵(脇本浜) 山下チヨマツ(鶴之西) 成尾ルイ(古里)
 - 九十二歳 濱田フデ(新町) 村田エノ(大丸) 瀬戸口スエ(遠矢)
 - 松林栄吉(柵) 知識ヨ子(田代下)
 - 川畑タカ(尾原) 的場与四郎(的場) 柏木清一郎(仲仁田) 松水ケサ(牛之浜) 野村キクノ(黒之浜)
 - 九十一歳 大石岩重(波留) 宮田

90歳以上79人



市内での
最高齢者
早水ツルさん(100)

- サヨ(同) 須崎ミセ(大丸) 高良武敏(同) 濱崎アイ(同) 川原ナヨ(高松) 濱崎タセ(本町) 小牟田ソテ(倉津) 宮原三助(中村) 築地ツルマツ(段) 濱崎与八(佐濁) 佐濁八太(同) 川畑サヨ(本之牟礼) 築瀬スエノ(米次) 鶴園ハツギク(尻無上) 尻無浜フジ(尻無下) 的場ツヤキク(的場)
- 牛之浜仙太(牛之浜) 松水アキ(同) 大漣チヨマツ(大漣) 大野シモ(桐之下) 筒川ヤエ(筒田) 野崎藤市(黒之浜) 河南貞女(聖園)
- 九十歳 山下キヨ(新町) 尾崎ユキノ(同) 新蔵己之助(同) 白濱貞徳(高松) 橋元ハツノ(本町) 川畑スソノ(濁) 築地ミツ(中村) 前田金吉(弓木野) 田口カツ(佐濁) 飛松セシ(高之口) 新戸義雄(飛松) 高原ソル(柵) 永田栄吉(尻無下) 牛之浜マス(牛之浜) 牛之浜サト(同) 上野スエカメ(丸内) 山平ウメキク(小漣) 出水アイノ(下村) 大漣ムメノ(脇馬場) 樺八重貞(鶴之東) 宮原良徳(黒之浜)

古い校舎の改築へ

大川小と三笠中

一部老朽化した校舎が残っていた大川小学校と三笠中学校の校舎改築工事が始まりました。

大川小学校で改築される校舎は正面の二階校舎で校長室、職員室保健室、音楽室などの教室。ここを取り壊し、新しく鉄筋コンクリート二階建ての新校舎を建設します。一階に校長室、理科室、準備室。二階が準備室、音楽室となり延面積三百五十平方メートル。工事費二千六百二十五万円。来年一月末の完成を目標にしています。改築後

は図書室を除きすべて新しい校舎となります。

八千万円で改築

—三笠中学校—

一方、三笠中学校の校舎改築は現在職員室などがある二階校舎の北側で、これまで技術室（金工、木工室）、宿直室、プラスバンド室に使用されていた教室。新校舎は鉄筋コンクリート二階建て、一

階が木工室、準備室、音楽室など、二階がしし教室、実験科（被服室、調理室）などとなっており工事費八千四百万円、延面積七百七十四平方メートル。来年一月末の完成を目標に工事が進みます。

県営住宅

建設中

牧内堤山に18戸

市内赤瀬川牧内の堤山に、昨年引き続き県営住宅が建設中で、来年二月末の完成を目標にしています。県が、阿久根市の住宅難を解消するため、昭和五十八年度から六

十年年度までの三か年間に六十六戸を建設するもので、昨年はずでに二十四戸が完成、市民の入居がすすんでいます。今年度分として十八戸を建設するものです。

住宅は、鉄筋コンクリート造り三階建てが二棟、一棟が六戸の住宅からなり、間取りは六畳（和室）二間、四・五畳、ダイニングキッチン、洗面室、テラスなどで、県が昨年初めて取り組んだモデルハウスで、現在入居されている市民からも好評を得ています。



新しい校舎の建設現場——大川小学校



土留のコンクリート打ちも始まる——三笠中学校



建設中の県営住宅



誕生



出生児

保護者 区名

大曲 真也	正人(大尾)
川畑 輝薫	利廣(大丸)
花田 文代	清美(仲田)
黒崎 智宏	美伸(中村)
和田 健作	健吉(倉津)
神田 祐輔	龍太郎(中屋敷)
松田 愛美	高明(高之口)
白江 美雪	徹(大丸)
田中 優美	優二(丸内)
新町 卓也	義幸(新町)
山崎 智宏	則義(新町)
西田 尚美	源一(波留)
濱崎 奈保	良一(段)
川畑はづき	巖(牛之浜)
濱崎いづみ	睦夫(上原)
大田 哲也	俊雄(尻無上)
松崎奈緒美	光男(羽田)
馬見新高男	秋雄(高之口)
濱崎 志織	謙相(波留)
宮野麻衣子	栄蔵(町)
濱田美代子	栄(上野)
赤崎 潤一	秋吉(倉津)
中村 憲通	正明(波留)
根比 麻美	隆雄(浦)
大野 史貴	和三(桐野下)
西田幸太郎	四男(脇野場)

急傾斜工事始まる

倉津地区

2か年事業、今年は82メートル

倉津区内の急傾斜地の崩壊防止工事が始まりました。

工事は、鹿兒島県が五十九年度から二か年事業として行うもので本年度分の工事費は約三千六百万



急傾斜を削り工事が進む

円。

工事が始まった所は、倉津漁民館の北側の急傾斜地。この急傾斜地を削り取り、下部をコンクリートの吹き付けにし、中間に擁壁

を作り、土砂の流出を防止することにしていきます。今年は八十二戸の区間を整備することにしており、来年三月末の完成予定です。

県のもり自慢(けい)

阿久根に

キャラバン隊

鹿兒島県は、今年から農村振興運動を拡大し、定着させることをねらいに「農村振興むら自慢づくり推進事業」を進めています。これは農村住民の創意と工夫で地域

の特性を生かした「むら自慢」を育てていこう、という運動です。この運動を強力に進めるため、県では八月を強調月間としてキャラバン隊を編成、県内を巡回し、



県知事のメッセージや「むら自慢座談会」を開きました。八月九日キャラバン隊の一行が阿久根を訪れ、運動の推進を呼び

かけました。市役所玄関前で行われたキャラバン隊の伝達式には農業関係者八十人が出席し、まず、新伊助役が「県、市、農家が一緒になってこの運動を進めていきたい」とあいさつ。次に、開利男県農村振興課長が「厳しい農業情勢の中、希望に満ちた、自立自興による村づくりに取りくんてくださ

い」との知事のメッセージを新伊助役に手渡しました。伝達式あとは「むら自慢座談会」も開かれ意見の交換が行われました。(写真は玄関前で行われた伝達式のもよう)

市長室から

「敬老の日」に思う

九月に入り、朝夕はすいぶんしのぎやすくなつてまいりましたが、市民の皆さままいがおすこしでしょうか。

学校も二学期が始まり、日やけした元氣な姿で登校する子どもたちを目にするとき、今年の夏、子どもたちの水による犠牲者が一人も出なかったことに、私は喜びを感じております。このことは子どもたちが、かねてから先生や父兄の教えやきまりをよく守ってくれたお陰であるうと深く感謝しております。今後、勉強や運動に頑張ってもらいたいものです。さて、

お年寄りの皆さんお元氣でお暮らしのことでしょうか。九月十五日は「敬老の日」。長寿おめでとうございます。私は、この敬老の日を前に市内の九十歳以上のお年寄りの家を訪ね、生活の様子などいろいろとお伺いいたしました。まだまだ元氣なお年寄り、或はまた、一人暮らしや寝たきりで淋しく暮らしているお年寄り、いずれにいたしましても、お年寄りの生活の厳しさを実感として受け止めました。

お年寄りみんなが共に楽しく元氣で暮らせる世の中であってほしいと願うものでありますが、現実

はなかなかそうとはかぎりません。

今後福祉の充実には特に力を入れてまいりたいと考えております。私も戦後祖國に復員いたしました。その時、すでに両親はこの世になく、親孝行もできなかつた。このことは今でも心残りでありません。このようなことを考えあわせますとき、今後なお一層お年寄りを大切にしなければ、と言ふ気持ちが強くなります。

あなた百まで、わたしや九十九まで、共に白髪のはえるまで、と仰のよい夫婦の姿を歌った一節があります。お年寄りの皆さん、これからも元氣で長生きして下さい。そして私共若い者に先輩としての尊い体験や知恵をかしていただき、指導していただきたい。そのことが一家の平和であり、市政の発展にもつながり、お年寄りの健康維持にも大いに役立つものであろうかと考えます。

日本人の平均寿命も世界の最高水準に達しました。世の為、人の為、自分たちはまだ何か出来るのだという氣概を持って、このことを生きがいとして長生きされま

すことを心から期待しお祈り申し上げます。敬老の日でした。

阿久根市長 川畑 強



祭りに華を添えた、阿小パントワラー



上手です。右から伊東議長、川畑市長、梶尾議長、若松商工会頭

踊って、歌って 楽しんだ…夏祭り

阿久根の夏祭りは、八月十七日十八日の二日間にぎやかに行われました。

祭りのハイライト、十七日のハンヤ節踊りには市内の事業所、子ども会、青年会議所など五十一団体、一千三百人が参加。国道3号を約一時間通行止めにし、「ハンヤ、ハンヤ」の踊りで埋めまわした。また、祭り期間中は、素人のど自慢大会、本町での各種団体の踊り、県警、自衛隊音楽隊の市中パレードなど、二日間阿久根は祭り一色につつまれた。



さて、私はだれ?



優勝した大川剣道少年団

市内大川の大川剣道少年団が七月十八日、東京の武道館で行われ

大川剣道少年団 九回目の 日本一に

「海水浴場をきれいにしよう」七月二十九日、市内臨本海水浴場のクリーン作戦が行われ、PTA子ども会、老人クラブ、婦人会などから五百人が参加。一人一人ビニール袋を手に木ぎれ、空カン、藻などを拾い集め、すっきりきれいにしました。

500人が出て 臨本海水浴場 清掃

消防ミニニュース
（一）は一月から八月まで
八月の火災発生数 3 (16)
救急車出動回数 73 (16)

一行は三十日特急はやぶさで阿久根に帰り、駅前で父兄らから熱烈の歓迎を受けていました。

れた全日本少年剣道大会で、二年ぶり九回目の優勝を飾りました。大会には中堅で主将の花田孝文君、先ぼうの寺地和則君、次ぼうの松下和矩君、副将の下藤洋君、大将の大田晃士君の五人が参加。一回戦から順調に勝ち進み、決勝で熊本県の酒西西小を二対一のポイントで破り優勝を決めたものです。



校区民総出のクリーン作戦

国道る号

「ハンヤ、ハンヤ」で埋まる



「商売繁盛たのんます」



たくましいお祭り



「ハンヤ、ハンヤ」の3号線



初登場の4Hクラブの蛇踊り



みんな楽しく踊りました



8月の市内交通事故

	()は前年	累計 1986年8月まで
発生件数	10(10)	84
死亡者	0(2)	2
傷者数	16(19)	104

優勝した
佐潟チーム(ソフト)

黒之浜を破り 佐潟優勝 (ソフトボール)



優勝した
鶴川内チーム(バレー)



優勝した
鶴川内チーム(バレー)

市子ども会球技大会

阿久根市子ども会育成会の球技大会は、八月十二日市の総合グラウンドと勤労者体育センターに、ソフトボール十三ヶ、バレーボールに十二ヶが参加。炎天下父兄らの応援のもと一試合一試合に熱戦をくりひろげ、小学生ソフトの部では決勝トーナメントで西目の佐潟が黒之浜Bと鶴川内を破り優勝しました。

バレーボールは

鶴川内が優勝

一方勤労者体育センターのバレーボールの部では、決勝に進んだ鶴川内と折多が熱戦を展開。鶴川内が二対〇で折多を破り優勝しました。



最終回 婦人会シリーズ

婦人会シリーズも最終回を迎えました。これまで、阿久根市婦人会の婦人会離れについて、現状や原因、対策などについてふれてきました。

このなかで、今の婦人会を取りまく現状は非常に厳しいものがあることがわかりました。すぐに婦人会を建て直し、昔の隆盛に持っていくことはむずかしいかもしれません。しかし、関係者の熱意、婦人自らのやる気があれば不可能ではないと確信します。

婦人会は私たちの地域になくてもならない組織であり、また消えてはならない組織の一つであります。最終回は、もう一回婦人会の原点を見つめ、なぜ婦人会が必要かについてふれてみます。

婦人会に入りましょう

まず、初めに婦人会活動のねらいと内容について紹介します。

婦人会は、

○会員の親睦をはかる（月例会、班会、慰安旅行、おどりのけいこなど）

○個人の教養を高める（子どもの教育の学習、食品添加物、消費生活の学習、生花などの趣味を広め高める学習）

○地域社会に奉仕する（敬老会、老人宅訪問、花いっぱい運動、募金運動、清掃美化運動）

○地域社会の課題（解決しなければならぬ問題を解決する）子ども、の健全育成、部活行事の改善、環境の整備など）

大きく分けてこの四つの項目がどこの地域の婦人会もかかっている活動のねらいで、婦人会はこれを達成するため会員が協力して活動を続けているのです。

よく「婦人会は何のためにあるのですか」「婦人会は必要なのですか」と言われます。婦人会は会員の資質向上、明るい家庭生活、住みよい地域づくりのためあるのです。

シリーズの取材中多くの婦人の方から婦人会について意見を聞きました。一部は先月号のアンケートの中でも報告しましたが「婦人会は必要です。建て直しましょう」と真剣にこの婦人会問題を考えて

いる婦人も多い反面、一部には、「もう婦人会は必要ない」と「区だけでもよい」と答える婦人も多く、現状の厳しさを痛感しました。

本当に婦人会が必要ではないのでしょうか。先ほどのべました四つの活動のねらいは今の婦人会には必要ないものなのでしょうか。県内のある市が婦人会員の勧誘のためにつくったパンフレットがあります。

厳しい世の中ほど 素直な心を 取りもどすとき

心と心をつなぐ婦人―「今ほど素直な心の大事なきときはない。どんなにりきんでみても、自分一人では生きられないし、知恵や力だけでも生きられない。素直な心になれば、この道理がおのずから明らかになるのだが、それでもなお知恵、力のある人は力のままに道をゆがめていく、あなたがあつての私であり、私があつてのあなたなのである。私だけがあればよいと思いがちで、だから知らず知らず孤独のなかに心の豊かさを失っていき、世の中が厳しくせちがらいほど、お互いに身を寄せたくなる。その素直な心を取りもどすことはないのでしょいか。同じ地域に住

こめいふくを お祈りします

死 亡 者 年 齢

猿楽シヅエ	77	(佐 港)	コメ
中内田ツヤ	74	(内 田)	静子
佐 港 正人	4	(佐 港)	利一
田原 シゲ	75	(田代下)	義實
川畑庄之進	94	(川畑中)	甚吉
中 脇 夏紀	0	(上 野)	昭伸
松 下 浩	61	(尻無上)	マサエ
巻 木 正直	77	(本 町)	節
西 原 節子	41	(川畑中)	整
鬼 塚 モミ	87	(本 町)	安雄
鶴 園 伯洋	43	(的 場)	美代子
山 下 成雄	47	(永田下)	ヒロ子
高 古 博藏	71	(佐 港)	カメマツ
跡 上 初子	68	(黒之浜)	直美
掘留キミノ	81	(黒之浜)	明
石坂宗太郎	89	(下 村)	幸雄

道路標識週間

10月1日から6日

道路標識の果たす役割りを理解しましょう。

市役所建設課



「おかあさん、ふじんかいがよんでるよ。」



地域や家庭での役割は重要 社会づくりは婦人会で

むし人たちがお互い身を寄せ合って自分たちの幸福を生み出し、住み良い社会の建設を目ざして行こうとするのが婦人の組織なのです」とPRしています。

ある市民からも「世の中は一人じゃ生活はできない。いろいろな人のお世話で成り立っている。私たちも社会に役立つ人にならなけ

ればならない。そのためには組織の活動が必要で、婦人の方は婦人会に入り、その目的に向かって頑張ってほしい」と婦人会の必要性を強くさげんでいました。

一回目で述べましたが、今の世の中は物が豊富にあり、ぜいたくな世の中になりました。他人の世話や他人から干渉されなくとも自

分一人で生きて働くことができず、物が豊富になったお陰で、それだけお金が必要になり、お金の収入を得るために、これまで働きに出なかつた婦人が働くという時代にお金の時代になってしまったのです。婦人会離れの原因の一つに「就労婦人の増加」があげられました。「働いているので婦人会にまで手が回らない」と、しかし、今の時代こそ、皆が働きに出る時代こそ人と人のふれ合い、助け合合っていく心が一番要求されるのではないのでしょうか。婦人会は、そのために、これらを満してくれる団体だと思ふのですが。婦人会は今ほとんど小さな区にもあります。そしてその区に応じた活動が続けられています。

地域行事に参加するのほとんど婦人です

地域での婦人の役割を見ても、清掃、PTAなどの会合、総会、運動会……など行事、催し物も出席するのはほとんどが婦人で、そ

消費者の質問箱

④

相談

ある商品を買った、契約をしましたが、都合により契約を解除したいのですが、

答

契約とは、法律的效果を生じさせる約束のことで「売る」「買う」と約束すれば、それを守らなければなりません。一度結ばれた契約は、原則として解除できません。一方的な通告で解除できるのは、①法律で決められている契約不履行があったとき、②あらかじめ契約書に書かれている特約条件に合致したとき、③訪問販売や割賦販売法などで定められているクーリング・オフを適用するときです。

契約の相手方が、解約に応じると言えは契約解除ができます。しかし、例えば、購入者が一方的に商品を送り返しても契約の解除とはいえません。

契約には、大変な責任と義務が生じます。契約する際は、契約書の内容や約款をよく読んで、十分に得してから、自分で署名、押印しましょう。



子どもや、家庭のためにも 若い人が参加し、盛りあげを

ただ婦人に期待がかけられているし、重要な役割をまかされているのです。これらは男性も婦人の存在を高く評価し、ありがたさを認めているところです。

このほか、家庭においての子どもの育成には母親としての責任があり、青少年の教育には夫以上の影響力をもつ婦人なのです。婦人会は、このような環境をもつ地域の婦人が、力を合わせ豊かな社会をつくり、一方では自分たちの幸福を生み出していこうと、自分たちでつくった組織なのです。当然、その地域にはなくてはならない必要な組織なのです。

昔は婦人会が 一つの楽しみでした

地域における若年層の未加入などがあげられていますが、地域婦人としての自覚をもち、子どもや家庭のためにも若い人がどしどし参加し、婦人会を盛りあげてほしいものです。

一人一人の婦人が 自覚をもとう

市内のある区の六十五歳の方よりこんな手紙もいただきました。「婦人会シリーズを読んで一言、時代の流れとでも言うのでしょうか。婦人会離れに驚きました。十年前婦人会をあげた者ですが、私たちの時代は校区脱退はおろか区脱退も考えないほど、毎月の婦人会活動を楽しみに、また集会の時などいろんな話に花が咲き、これも勉強の一つと思つたものでした。区で事故でも起これば緊急に婦人会が集まりたき出しをし、消防団が動けば婦人会も働くとつたようでした。教養団体でありま

た、奉仕団体であることに深く勤まれ、おしみなく楽しく働きました。……(略)……何をすることも先ず婦人会なしでは済まされないのではないでしょうか。今の人は仕事に出る人が多いといいますが、昔は今より以上に働きました。昼は畑に行き、山に行き、水道がない時代は水をくんで、息つくひまもなく働きました。だから夜の婦人会の集まりが一つの楽しみだったのです。」と。

昔は、昼も夜も働かなくても婦人会の活動は楽しくやっていたと言う、時代は流れましたが、婦人会の活動は昔も今も変わらなれないと思います。



婦人会が発足して約百年。時代と共に婦人会は歩み続けています。苦心して築き上げた先輩たちの歴史は重く、地域に根付いています。婦人会は無用の長物」とか、婦人会はたためにならぬ」といふ婦人もいますが、婦人の果たす役割を理解し、一人一人の婦人が自覚をもって婦人会活動に参加するならば、このような意見など出ないと思つたのですが。

簡易生命保険の保険料 を引き下げました

阿久根郵便局

郵政省では、五十九年九月一日から次のとおり保険料の引下げ等が行われます。これは五年ぶり平均八、六％の引下げで諸物価が上昇するなかで掛金の負担が軽くなりました。

※詳細は郵便局へ

◎簡易生命保険の保険料の引下げ

◎特約保険料の引下げ

◎入院保険金額の改正

被爆者健康手帳の 交付申請について

鹿児島県では、原子爆弾被爆者の医療等に関する法律に基づき、広島市、長崎市で被爆された方々に対して、被爆者健康手帳を交付しておりますので、まだ、手帳を持っていない方は申請してください。

なお、詳しいことについては出水保健所 ☎099666③31111 へお尋ねください。



出水市在住の木戸孝さんも、先月で「今、胎動する婦人会」ということでいろんな提言をお寄せいただき、婦人会の今後進むべき一つの指針を与えていただきました。

市政発展のためにも 婦人会に結束を

さて、市の婦人会から離れている校区は現在田代、尾崎、鶴川内、大川、折多の五つの校区です。離れている校区が市に入って活動しようと言ふ動きは今のところないようです。

いまさら市に入って活動は、校区、部落でいいのではないかと、このように考えがあるのかも知れません。「区のこととは十分やられても学校などで市や県の婦人会員と話しをすると、何か時代の遅れを感じます。これからは目をとじてはいけない。もつと大きな心を持って歩んでいったら」と話してくれた婦人（市から脱会している校区の婦人会員）もいます。部落で立派に活動をするのは当たり前かもしれませんが、やはりお互い婦人が市政発展のためにも協調し、連帯性を高めながら活動していくのが本来の姿だと思えます。

写真やスライド

県観光連盟が募集

県と県観光連盟では、広い視点から観光鹿児島島の魅力を表現した写真及びスライドを募集します。鹿児島島の四季の自然や史跡、名勝、民俗行事、特産品などをテーマにした作品を十月二十一日までに、

鹿児島県観光連盟

(〒892 鹿児島市名山町九一 県産業会館内)へ送ってください。

プリントは、カラーでもモノクロでも構いませんが、サイズはキャビネット以下四つ切りまで、スライドはカラーで二十五リ判以上に限ります。

明るい婦人会の明日…

みんなの参加にかかっています

伝統ある阿久根市婦人会を守り育てていくためにも各校区が市にまとも、昔の隆盛に帰ってほしいものです。そのためにも、前にも述べましたが、市内の一人ひとりの婦人の方が、なぜ婦人会は必要なのかを今一度、再認識して

お礼

婦人会シリーズが終了しました。シリーズ中では多くのご意見、ご要望、ご提言をいただきありがとうございます。また、アンケート

調査の際は、市内の企業や商店のご協力を得て、貴重な資料を得ることが出来ました。

婦人会の現状は厳しいものがありますが、これからの婦人の皆さんのゆるぎない期待と希望をいたします。

十月一日は

「法の日」です

無料法律相談所を開設

○日時 十月六日 午前十時から午後三時まで

○場所 鹿児島市山下町

「自治会館第五会議室」

○主催 鹿児島県弁護士会

詳しくは、鹿児島地方家庭裁判所総務課係 ☎09

9227121へ

訂正とおわび

先月号誕生おめでとうコーナーの中で、出生児が宮原聡美ちゃんとなっていました。宮原聡美ちゃんの名前が訂正されています。訂正しておわびいたします。

市民運動会

10月10日(水)
—体育の日—
総合グラウンド



たばこは市内のお店で買しましょう



市内的場
川畑松末さん(81)

友だちの作品

■三笠中学校



今月の新着図書

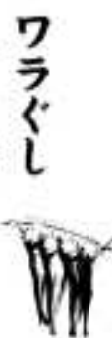
▽ダミアンズ、私の獲物(華城文子著)▽映画館(こや)がはねて(山田洋次著)▽展望車殺人事件(西村京太郎著)▽ト短調の子守歌(赤川次郎著)▽幕末巨龍伝(津本陽著)▽焼跡のひまわり中

図書館だより

原淳一(林えり子著)▽ぼくの人間手帖(森本親郎著)▽マンガがバイブル(小野耕世著)▽教え子物語(三好京三著)▽スニョンの一生(佐藤愛子著)▽血の海(笹沢左保著)▽隻眼の人(飯尾憲士



わたしの十八番



ワラぐし
(レン)づくり
市内大川鈴木段
大田サヨさん(88)

出来あがった塩付けイワシを出荷するとき、見栄えのよいように二、三匹ワラにさす、このワラが「ワラぐし」。地元では「レン」と呼んでいます。
サヨさんは、このレンづくりに頑張っているばあちゃん、雨の日も風の日も、もくもくとつくる。レンは、きれいにすいたワラ一本を折り、ねって、あと一本同じ



ようにし、これを合わせ両方のはしで結び、締めつけ、はしを切つて出来る。サヨさんはわずか十秒程でつくってしまう。とにかく働くことが好きで、朝、牛の飼料の草刈りがすむとすぐこのレンづくりにかかる「疲れたときや、昼寝しながらつくつ」と笑う。近所の塩干工場から引っぱりだこで、「よか小使の銭になつ」と目を細めるサヨばあちゃんです。

著)▽女の幕ノ内舟出(田辺聖子著)▽警官汚職(読売新聞大阪社会部編)▽夢の始末書(村松友和著)▽動物王国ラフンディ(細止美著)▽マウント・サタン(唐十郎著)▽変哲もない一日(阿部昭著)▽笑ってジタン、殺してパズル(平石貴樹著)▽片翼だけの天使(生島治郎著)▽ソフィーの恋の物語(ジュヌヌワイエーブ・ドルマン著)

在宅医さん

在宅医の診療時間は午前九時から午後五時まで、急患の方以外はご連絡ください。

- 9月24日(振替休日)
- 阿久根内科 ②0578 (琴平)
- 内山病院 ③1551 (高松)
- 石原医院 ⑤0045 (橋之東)
- 9月30日
- 上園医院 ③1055 (本町)
- 田中外科 ③0553 (大丸)
- 臨本病院 ⑤2121 (橋之西)
- 10月7日
- 堀切産婦人科 ②0263 (高松)
- 北園医院 ②0016 (本町)
- 浜之上医院 ⑤2600 (藤島)
- 10月10日(体育の日)
- 大塚眼科 ②0306 (浜町)
- 喜多医院 ②0038 (大丸)
- 黒木外科 ⑥0200 (下村)

寺地さん(表川内) 全国人権擁護委員 連合会長表彰に

市内大川表川内の寺地伊佐夫さんが、このほど全国人権擁護委員連合会長表彰を受賞されました。表彰は、永年人権擁護委員としての功績が見とめられたものです。

サークル紹介 ⑪

ボランティア

ひまわり



五十七年十二月、十人のメンバーで発足いたしました。ひまわりの花のように、太陽に向かつて明るく、また暇を割ってボランティアをさせて頂くことのできることでスタートしたのです。メンバーの中には、自分の体の

不自由さの中、病院の方々に、お世話になるのでお返しのもりでの気持ちの人、それに決して暇な人達ではありません。それぞれ忙しい中、それこそ暇を見出しての活動です。メンバーの中には、個人で活動している人もおります。大きな活動は出来ませんが、地味で息の長い活動でありたい。そして常に活動の中より自分を見つめ、反省し、強く生きていく糧を与えて頂けることを、喜びとしている私たちです。私たちのささやかな活動によって、何らかの意味で喜びを感じてもらえるならば幸いです。メンバー一同これからも仲よく躍進して参りたいと思っております。

阿久根歌壇

折田憲司選

(男選)

燈籠のあまた漂ふ夜の川右左左往して泳ぐ家鴨ら

(女選)

安息の夜の川畔に突然現れた精霊流しの集団に驚き水上に逃れた家鴨らは更にただならぬ燈火の浮遊を訪しむのである。右左左往は表現として通俗であるが、素材の発

見は時に一首の力となる。

給食の不味きを訴う孫の声豊かさの慣れを妻ふわが声

臨本 赤崎 タエ

生きて来し日々を憶へり生きてゆく末を想へり今日誕生日

臨本 宮原 範子

久々に卒業写真を開き見て「き友の数多きに驚く

大丸 橋崎 幸

菖柑子の米き実残るわが庭に夏鶴のひそと一羽ある

赤瀬川 築瀬 紀夫

「歴史的仮名遣ひ使用」

あくねのみんな ③②



ざぼん娘

ジャポン 文旦 文橙 ともいう 柚子

中国の南にある桂林は、世界的に有名な景勝地で、山水画のふるさとといわれています。桂林から漓江下りの風景は特色

の奇峰がそそり立って、その一つ一つに

伝説があり、終点陽朔に着くまで飽きることはありません。

その奇峰の中に北東(日本)を向いた

一つの美しい山があり付近にはざぼんが栽培されています。

昔この山裾に綺麗な心の優しい可愛い娘と二人、淋しく暮らして



た老人がいました。そのころ、北東の日本から学問に志して渡航して来た青年が、永い年月の苦学が実り立派な学者となつて、この娘と結婚し楽しい生活が始まりました。幾年か過ぎた年の暮、急にこの青年は用事があつて帰国しなければならなくなりました。来年ざぼんの花咲くころは必ず帰つて来ると約束して、悲しい別れを告げ臨先のざぼんを土産に西江を下り日本に旅立つて行きました。

それから何ヵ月か後、この娘に可愛い赤ん坊が生まれました。冬が過ぎ春を迎えざぼんに花が咲きました。夫は帰つて来ません。妻は赤ん坊を背におつて、毎日山に登り日本の方を眺めながら夫の帰りを待ちました。

子どもは丸々と太つて二歳になりましたが、まだ見ない父は帰つて来ません。三年も待った妻はとうとう病に罹り再び夫に会うことができずなくなり、子どもは大きくなる

につれ父が恋しく山に登つては北東を眺め、河に下りては、漓江上りの船が着くのをいつも待っていたということでした。(文旦の古川民話)

みんなの広場

皆さんの周りで起きたニュース、話題など、なんでも結構です。広報係へお寄せください。
☎③1211内214

が ん ば っ て



フレッシュ一年生、若さを売りものに頑張ります。
市内上野 浜崎 恵さん(18)

田代小中PTA 道路愛護で知事表彰



知事表彰を受ける
田代小中PTA代表

市内田代小中学校PTA道路愛護グループが、永年地区内を通る県道の美化、清掃にボランティアとして積極的に活動したのが認められ、このほど道路愛護に功績があったとして知事表彰を受けました。

母と子料理でふれ合い

母と子が一請になつて調理を楽しまう。夏休み期間中の七月二十四日から八月二十七日までの十日間、臨本地区公民館と働く婦人の家で、母と子どもによる調理講習会が行われ「てまりおむすび」「かぼちやのポターージュ」「カッタージトマトサラダ」の三品に腕をふるいました。



楽しい母と子の料理教室

浜優勝

軟式野球盆大会

第八回軟式野球盆大会は、八月十四日、市の総合グラウンドに十四チームが参加して行われ、浜区が優勝。二位大田区、三位臨本区、鶴川内でした。

交通事故相談日

十月十二日(金)

市民相談室

松井さんらを表彰 身体障害者福祉大会

第四回阿久根市身体障害者福祉大会は、八月二十八日市民会館ホールに会員百七十人が参加して行われました。(写真)

大会では中津浜実会長が「障害にあまえることなく、存在する機能を十分發揮し、健常者に負けないよう、市のため、国のため頑張ろう」とあいさつ。自立更生者で黒之下区の松井博さんら六人を表彰しました。大会はこのあと若人の主催や講演、アトラクションが行われ、楽しい一日をすごしました。表彰を受けた方は次のとおりです。松井博(黒之上) 柏木一徳(瀬之上) 切通兼一(山馬場) 平照美(中村) 花木ミツ子(中屋敷) 小原喬(飛松)



小原喬(飛松)

むかしの

子どもの遊び

サンゲシ
(竹馬)

15



サンゲシともいう竹馬のこと。一本の竹にそれぞれ足をのせる台を付けたもの。始めは足台を低くし、上手に乗れるようになると段々高くして、縁側や石垣、板塀の上からでないに乗れないものをつくり、上から見下して得意がったものである。平衡感覚を養うのによい。

ソフトボールなど楽しむ
大口と阿久根の交歓会

阿久根市と大口市のライオンズクラブの児童交歓会が、八月十一、十二日阿久根市で行われ、山と海の子どもたちがソフトボールやキャンプファイヤーに楽しみました。今回で六回目。交歓会には大口針持小の子ども二十五人と、阿久根からは脇小の子ども二十五人が参加。ソフトボールや夜は臨本海水浴場でのキャンプファイヤーで校歌やのど自慢などに楽しく交歓を行いました。



キャンプファイヤーで交歓会

湯田さん

(表川内)に

初期消火感謝状

市内大川表川内の湯田深志さん(66)に、このほど初期消火協力

として市から感謝状が贈られました。湯田さんは、七月十一日朝、近くの民家の台所から煙が出、家の人がかきこんでいるのに気づき、消火器を持って現場に走り、火を消し止めたもので、台所の一部を焼いただけで大事に至りませんでした。

ハイ！元気だよ



笹原史貴ちゃん(2歳)

市内臨本桐野下
笹原政輝さんの二男

わたしの

お父さん ⑧

市内鶴川内横手

中野強志 (7)



中野正春さん (36)

ぼくのおとうさんは、きんをそをつくるかいしゃにつとめてい

ます。病院で、いきがくるしい人やけがをした人のために、きんをポンペをはいたつしします。車のしゅうり工場などにも行きます。ぼくは、たいせつな仕事だなあと思います。おとうさんは、やきゆうが大好きです。ぼくたちにも、キャンプボールをおしえてくれます。でも、やくそくをまもらない時は、すぐけんこつがとんでくるのでこわいです。ぼくもおとうさんのようになりたいです。

牛深に6点差
阿久根四年連続優勝

三地区大会

第二十二回三地区(牛深市、長島町、阿久根市)親善体育大会は、七月二十九日阿久根市を会場に、熱戦をくりひろげ総合で阿久根市が優勝を飾りました。

今大会には初めて議員のソフトボールも加えられ十三種目。グラウンドを中心に親睦を図りながら競技が行われ、剣道、庭球、野球、女子バレーボール、家庭婦人バレーボール、卓球、女子ゲートボール、銃剣道に優勝した阿久根市が二位の牛深市に6点の差をつけ四年連続優勝しました。二位牛深市三位全長島町でした。



市長から感謝状を受ける湯田さん(左)

た。湯田さんの機敏な消火活動をとたえ、市長から感謝状が贈られました。

お知らせ

行事催し物など
とどしお寄せください

☎1211内線214



老人と若人の洋上研修 青年ボランティア募集

県老人クラブ連合会では、老人と若人の洋上研修事業の青年ボランティア団員を募集します。

これは十一月六日から四泊五日間の沖縄までの船内・船外での研

修を通じて、老人と青年が交流を深めるために行います。

応募資格は、五十九年十月一日現在で十八歳以上二十歳未満の男女で、募集人員は三十人、締め切りは九月二十日です。

申込書は、居住地の市役所の福祉事務所にあります。

詳しくは、県庁老人障害福祉課

国民年金 誕生月には現況届けを

国民年金の受給者は、年に一回「国民年金受給権者現況届」を社会保険庁へ提出し、生存の確認を受けなければなりません。現況届の用紙（はがき）は、毎年受給者の誕生日の初めに、社会保険庁から送ります。用紙が届いたら、必要事項を記入して、市長の証明を受け、社会保険庁へ返送してください。

現況届は、国民年金を受けている人が、引き続き年金を受けるかどうかを調べる大切な手続きです。この提出を怠ると、年金の支給を止められますので、ご注意ください。

ただし、年金を受けるようになってから一年以内の場合や、支給の停止を解除された場合などは、現況届の用紙は送られません。詳しくは、市の国民年金係にお尋ねください。

☎0992268111 内線2333 または各福祉事務所
市の老人福祉係へお問い合わせください。

行政書士試験の案内

十月二十八日

▽試験日 十月二十八日(B)
▽場所 鹿児島市 名瀬市

▽受験願書の提出期間
九月二十四日(月)から十月六日(土)まで

詳しくは、県庁総務部地方課
☎0992268111内2093

通話料金

ことしも値下げしました

阿久根電報電話局

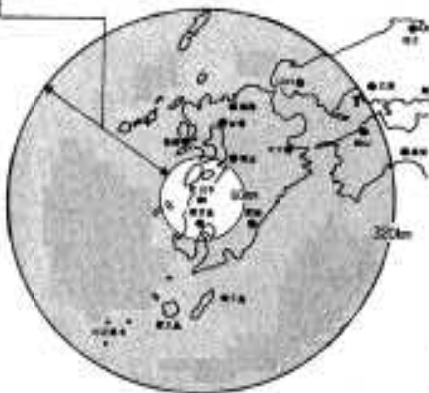
七月十九日から通話料金(60秒から300秒)が安くなっています。

今回値下げになっているのは出水から六十秒を超え三百一十秒までの地域(別図参照)へのダイヤル通話料金です。

松山、山口、岩国など二九%、久留米、佐賀、佐世保などへは二四%の大幅値下げで従来の三分で四回通話ができ、その他の地域も二一%値下げになりました。

今回値下げになった地域

(注) 320kmを超える地域(広島以遠)は均一料金(昼間3分400円)です。



社協だより

隆夫さんより香典返し寄付をいただきましたが、事務局の手違いにより、もれていました。深くおわび申しあげます。

※篤志寄付
川内ヤクルト販売株式会社より、チャリティーの寄付金の一部を寄付いただきました。

次のかたがたから、香典返しとして、市社会福祉協議会に寄付がありました。ありがとうございます。

した。(敬称略)
園田ミエ(上野) 川辺光子(大丸)
渡辺隆夫(橋之東)
昨年十月五日、橋之東区の渡辺

県巡回秀作美術展

9月20日から27日まで
阿久根市中央公民館
入場無料です。県内外の優秀作品(洋画・彫刻・工芸・書道)を展示。

不用犬引き取り

九月二十五日
十月二日・十一日
午前十時~十時半
場所 保健センター

昭和五十九年九月十日 鹿児島県阿久根市鶴見町二〇〇番地阿久根市役所編集発行